

活動報告

JST さくらサイエンスプラン(2021 年度) オンライン交流の実施

接合科学研究所複合化機構学分野 教授

近藤 勝義

2022 年 1 月 13 日~14 日の 2 日間に渡り、JST さくらサイエンスプランの支援による海外学生 10 名とのオンライン交流プログラムを実施しました。2019 年のさくらサイエンスによる当研究所への受け入れ以降、日本への受け入れ困難により実際の受け入れが行えていませんでしたが、本年はオンラインによる 2 日間の活動として実現することが出来ました。

今回は、マレーシア大学ケランタン 1 名（マレーシア）、国立台湾大学 2 名（台湾）、モンクット王トンプリ工科大学 2 名（タイ）、ベトナム科学技術アカデミー材料科学研究所 2 名（ベトナム）、インド工科大学ハイデラバード校 1 名、上海交通大学 1 名（中国）、西安交通大学 1 名（中国）、からの 10 名との交流を行いました。本交流に当たり、当研究所からはそれぞれ、田中研、内藤研、西川研、近藤研、阿部准教授、伊藤研、麻研が連携しました。

1 月 13 日には、10 名は当研究所主催で開催した国際協働研究セミナーに参加し、当研究所と主に

広域アジア地域の大学や研究機関と実施されてきた各種国際協働研究の成果発表を聞きました。学生にとり内容は簡単ではなかったことが想像されますが、これらの最新研究に触れることは貴重な機会になったものと思います。

1 月 14 日には近藤勝義教授司会の下、午前中には当研究所の上記各研究室から約 20 分ずつ研究活動の紹介や研究室の紹介が行われました。同日午後には、参加学生より一人ずつ、現在取り組んでいる各自の研究について発表が行われました。粉末材料、異材溶接、微細構造など、各自の研究分野は異なりますが、それぞれの熱心な取り組みが大変よく伝わり、相互に刺激的な機会になったものと思います。

当研究所では JST さくらサイエンスでの交流を 2014 年から続けており、中には参加学生と当研究所の連携研究室との協働研究や留学受け入れとして発展するケースもあり、重要な活動となっています。今後、状況の改善により実際に学生を受け入れることが出来る日が早く来ることを祈ります。



Students and supervisors for Online Exchange on Sakura Science Program